

令和5年度 2学期終業式 校長講話

1) 久々の集合開催

おはようございます。本校では数年ぶりに体育館で全学年が揃っての終業式になりました。そして冒頭に校歌をみんなで歌いました。みんなで集まってこうして校歌を歌えることをうれしく思います。

校歌を作詞した人は誰か知っていますか。本校の初代校長の桑木健先生です。作曲者は作曲家の糸川玲子さんです。作曲の糸川先生は、「桜高校校歌への思い」という文章の中で、こうお書きになっています。

「高校時代は、いろんな意味で世間に飛び立つ羽を揃える期間です。その時間を共有した友人は生涯の宝物となるでしょう。節目節目で歌い継がれてゆく校歌。自然と口ずさめる様な爽やかなメロディにしたい、また桜色の幸せなイメージがいつも薫るような、そんな曲に仕上げたいと思いました。」

このようにおっしゃっています。作った人の思いも感じながら、これからも校歌を歌っていきましょう。高校時代のかけがえのないひととき、こうしてみんなで集まって校歌を歌う時間の尊さを感じてもらいたいと、私は思います。

2) 今日のテーマ・始業式の復習

さて、夏の暑さに始まった2学期も今日で終わりです。始業式は、スライドを使って各クラスに配信してお話ししましたが、始業式の私の話のテーマを覚えていますか。「伝え合い」をテーマにした話でした。

さらにさかのぼって1学期の始業式で、私はこんな話をしました。私の夢は「三つのあい」のある学校をすることです。「三つのあい」、それは、「認め合い」、「伝え合い」、「学び合い」のことです、と話しました。今日もその三つのうちの「伝え合い」についてお話しします。

3) 伝えあうことができたか。

始業式でお話ししたのは、「報告・連絡・相談」を心がけましょう、ということでした。2学期は大きな行事として文化祭があり、2年生は修学旅行、そして3年生は進路決定の時期です。そういった活動を通して、自分のことを伝える機会が多くなります。また、感染症対策として自分の体調をしっかりと「報告・連絡・相談」するように「コンディションレポート」を使いましょう、自分の思いを伝えることが、他人を助け、さらに良い関係を築くことにもつながります、という話をしました。

さあ、どうでしょうか。2学期を振り返って、自分の思いを伝えることができたでしょうか。授業の場面で、行事の場面で、部活動の場面で。伝えることができたか、考えてみてください。そしてそのことで、友達や周りの人と良い関係が気づけたでしょうか。トラブルはなかったでしょうか。

4) 伝えるだけでなく受け止めること

先ほど「伝えあい」と言いました。「伝える」だけでなく、伝え「あい」ですから、

受け止めることも大事です。校長室から体育の授業の様子を見ていますが、ソフトボールのキャッチボールやフライングディスクをやっていましたね。投げるのも技術が必要ですが、受け止めるのも技術が必要です。それは思いも同じ。伝えるだけでなく受け止めることも技術や心がまえが必要です。

冒頭で、校歌の話をしました。作詞者の思いを受け止めるには、言葉を読み取る力、読解力、リーディングスキルが必要です。作曲者の思いはもちろん音楽を読み取る、感じ取る力が必要です。

5) ある生徒のこと

2学期に、こんなことがありました。対人関係のトラブルの相談に、ある生徒が校長室にやってきました。話を聞いた後、私はその生徒に、「相手の人に私から何か言いましょうか?」と言ったところ、その生徒は「相手の人がどういう思いなのか、その人と話し合ってみたいです。」と答えました。この言葉から私が感じたことは、「お互いに思いを言葉で伝えるけど、うまくいかなかったときに、それを責めるのではなく、受け止める努力、分かり合おうとする努力をする、その相手を受け止めようとする姿勢、受け止めようとする心の在り方がすばらしい。」ということです。そしてその言葉に私も感動しました。

6) 私が教師を志した理由

なぜ感動したかという、そういった思いを伝えあいながらお互いを理解しあおうとする努力、それが平和につながるからです。思えば私が教師を志したのは、平和な社会をつくるためです。平和を実現すると言っても、政治家や思想家には私はなれないので、自分の好きな教科、国語の力を生かして、教師として子どもたちを育てていく、その中で、暴力ではなく言葉で思いを伝えあいながら平和を実現させる、そう思って今日まで教師を続けてきました。もちろん先ほどお話しした生徒を、私が国語の授業で教えているわけではありませんが、この大泉桜高校で、そのような生徒に出会えたことで、私は教師を続けてきてよかった、このサクラの生徒に出会うために、私は今日まで教師を続けてきたのだ、というふうに感じています。今年1年で私が一番よかったことは、このサクラの生徒との出会いでした。

7) 伝えあうことで平和な社会を

ちょっと大きく平和の話になってしまいましたが、今日もテレビではウクライナやガザでの戦争が報じられています。そんな時代だからこそ、伝えあうことの大切さと平和について、この2学期の終わりに考えてほしいと思います。2年生は、修学旅行で平和についても学びました。私も修学旅行に同行して、平和についての思いを新たにしました。

伝えあうことは、伝えることと受け止めること、です。2学期、さまざまな場面でいろいろな人と、思いを伝えあい築いてきた、その関係、つながりを大事にして、新しい年を迎えましょう。長くなりましたが、私の話を終わります。